

認証評価受審における責任者の 役割について

広島国際大学

焼廣益秀

学校法人 常翔学園

大阪工業大学

摂南大学

広島国際大学

常翔学園中・高等学校

常翔啓光学園中・高等学校

広島国際大学

東広島市、呉市、広島市にキャンパス

保健医療学部、総合リハビリテーション学部
医療福祉学部、心理学部

薬学部、看護学部、医療栄養学部

医療経営学部

学生数

学部：4279名

大学院・専攻科：110名

自己点検・評価体制

- ・大学の自己点検・評価に関する委員会

 - 自己評価委員会

 - 中期目標・計画の策定と自己点検・評価
施策マネジメントシートを用いたPDCA

- ・認証評価受審(2015年度)に関連して設置したWG等

 - 自己点検評価書作成WG (2013年度設置)

 - 大学機関別認証評価対応小委員会 (2014年度設置)

自己点検評価書作成WG

2013年度設置

・構成員

前回受審時に作成に関わった教授（WG長）

日本語担当教員

副学長（教務部長）

企画課職員

・役割

自己点検評価書の作成

機構へ提出までのスケジュール案策定

大学機関別認証評価対応小委員会

2014年度設置

・構成員

副学長（委員長）

学科長・課長等実務者

・目的

認証評価全体について情報共有

エビデンス収集や文章原案作成依頼

自己点検評価書（案）の確認

実地調査時の対応確認

自己点検評価書作成の流れ

自己点検評価書作成WG

2013年度～2014年度初め

旧基準で2008年度～2013年度の自己点検評価書作成

2014年度

現行の基準で編成し直した自己点検評価書作成

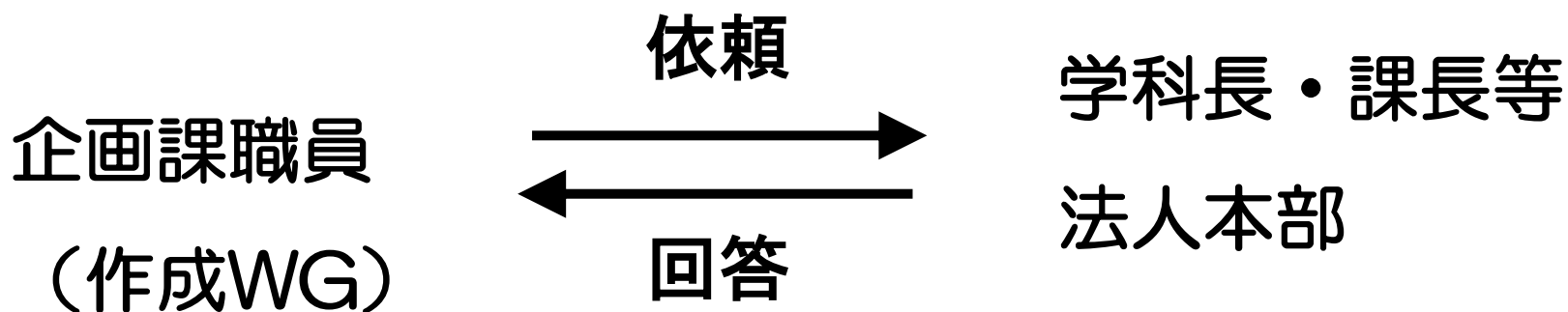
2014年度末(～2015年4月初め)

編成し直した自己点検評価に加筆・修正

2015年度

機構への提出用に自己点検評価書等を編成

自己点検評価書等書類の作成



各基準の項目毎に分担を決め、文章作成等を依頼

例：基準2-2 教育課程及び教授法

各学科、各研究科、教務課、総合教育センター

キャリアセンター、国際交流センター

既存の自己点検評価書の加筆・修正

認証評価受審の意義

・改革推進

前回受審時の参考意見における改善推進

前回受審時の改善方策の実施

判断例等をもとにした改革の推進

・現状認識と今後の改革

改めての自己点検・評価の機会

日頃の情報共有不足の再確認

他大学の教職員の視点からみた現状認識

担当者が苦勞した点

1. 教職員の認証評価に対する認識不足
2. 記述における認識不足
3. 3つのキャンパスがあること
4. 複数の学科があること
5. 法人本部が大阪にあること
6. その他

1. 教職員の認証評価に対する認識不足

- ① 認証評価そのものについて知らない
- ② 認証評価では「あら探し」をされる
- ③ 認証評価は「適合」となるのが目的だ

2. 記述における認識不足

- ① 学内でしか通用しない用語や暗黙の了解に基づく記述
- ② 記載者の個人的意見
- ③ エビデンスに対する認識不足

3. 3つのキャンパスがあること

4. 複数の学科があること

- ① 文章量や資料(エビデンス)が膨大になる
- ② 矛盾のある記述が出やすい
- ③ 全学的な取り組み・課題が明確にする必要

5. 法人本部が大坂にあること

- ① 理事長を初め本部と対応や課題についての認識の確認
- ② 対面での議論が難しい
- ③ 情報共有のためのコスト高

6. その他

- ① 実地調査直前の学長改選
- ② 自己点検評価書作成WG長の手術によるWG解散
- ③ 企画課事務職員の病欠

認証評価受審にける責任者の役割 (まとめ)

- ① 認証評価受審の意義の説明と協力への依頼
- ② 自己点検評価書・実地調査での面談における責任
- ③ 危機管理